

町との関わり、楽しく自由に考える

飯南プレーパーク+α

代表 勝部 駿一さん

(島根県立農林大学校林業科2年)

副代表 星野 航さん(同2年)

山口 笑汰さん(同1年)

どのような団体ですか？

勝部 総勢8名で、町内各所で自然を生かした遊びの空間を作っています。積み木やハンモック、木工、焚火などが用意しており、参加者は食べたいものなどを持参します。



小田・真木地区の方と遊具づくり



自由な発想で集まる仲間たち

この活動を始めた理由は？

地域の人に協力してもらいながら体験活動ができるのも魅力です。

勝部 幼少期に遊んでいた場所では、地域の大人や、地元の高中生や大学生のボランティアなど、いろんな年代の方と関わりが持てました。

学校や習い事、職場以外で人との関わりを持つことが重要だと思い、飯南町でもそれができる場所があったらいいなと思ったんです。

星野 山で子どもたちが遊んだり、自然の中で子どもを育てる「森のようちえん」に興味があったし、学生も関われるのであれば、いい経験が積める

と思ったので。

山口 僕は先輩に誘われて…。最初はよくわからないなと思ったけど、3回目くらいからなんとなく様子がわかりました。

やってみてどうでしたか？

星野 「スタツフも参加者も楽しめる」がコンセプトなので、ワクワクしながら、いろんなことが実現できて楽しいし、企画・運営も楽しいです。

勝部 打合せで脱線するのが醍醐味ですね。パツとしないアイデアを口にする場所ってなかなかないですからね。そのままの形でなくても、他のものと繋がるかもしれないし、けっ



持参した食べ物を焼きます

こう何でもありなところがいいかな。

そもそも「絶対こうでないきゃヤダ」ってものはなかったから。集まる人でできるものは違うでしょうし…。

山口 今まで子どもと関わることがなかったから、子どもは苦手だと決めつけていたけど、何度か参加して、子どもやこうした活動も案外好きになれるなと思いました。

これからの目標は？

星野 飯南町との関わりしろができました。卒業後も遊びに行ける場所「学生にとっての居場所」にしたいです。

勝部 学校以外の場所で、子どもたちや地域の人とこまめに関わりを持てると思っていませんでした。卒業しても繋がりは続くし、大切にしていきたいですね。

山口 これからも参加者と一緒に楽しみながら、いろんな経験を積んでいきたいです。そして、多くの人に活動を知ってもらい、協力してもらえると嬉しいです。

募集

「明日を拓く」で取り上げてほしい会社や個人、団体、行事やイベントなどの情報をお寄せください。取材に伺います。議会報の表紙に使う写真の募集もあわせて行います。自薦他薦は問いません。皆様からのご応募をお待ちしています。

《応募先》飯南町議会事務局 0854-76-2190

今月の表紙写真



「若い人には、失敗してもいい場所が必要だと思う」とは、元大リーガーの野茂英雄氏の言葉。飯南プレーパーク+αに集う面々には気負いを感じません。自分たちが楽しいと思えることの輪を広げていこうとする姿には、町づくりの3要素である「若者・ばか者・よそ者」を感じます。年齢でなく積極的に取り組む「若者」、時には驚くアイデアを出す「ばか者」、第三者の視点で分析できる「よそ者」は、明日の町の宝かもしれません。